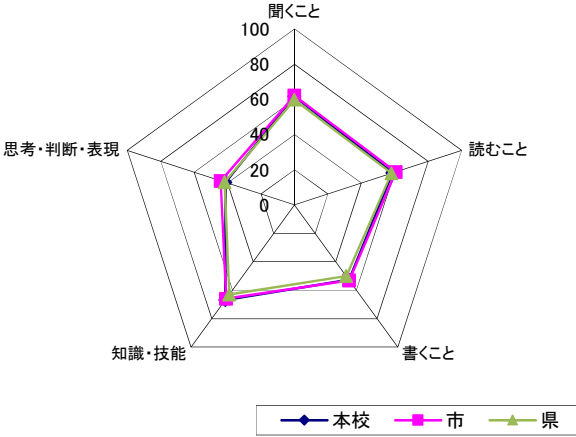


宇都宮市立雀宮中学校 第2学年【英語】分類・区分別正答率

★本年度の県、市と本校の状況

分類	区分	本年度		
		本校	市	県
領域等	聞くこと	61.7	62.0	59.7
	読むこと	58.6	60.6	58.0
	書くこと	52.6	53.1	50.1
観点	知識・技能	66.9	66.0	63.0
	思考・判断・表現	41.1	44.1	41.7



★指導の工夫と改善

○良好な状況が見られるもの ●課題が見られるもの

分類・区分	本年度の状況	今後の指導の重点
聞くこと	平均正答率が市平均よりも0.3p下回ったが、県平均よりも2.0p上回った。 ○対話文を聞き取る問題では、どれも正答率が県を上回っている。さらに、絵を適切に表している英文を選ぶ問題はすべて、正答率が80%を超えている。また、すべての問題において無回答者が1人もいない点で良好といえる。 ●英文を聞き取り、たずねられたことに対して自分の考えを簡潔に答える問題では、県よりも1.7p下がり、正答率は17.2%であった。	・長文になればなるほど、情報を自ら整理する力が問われるため、日頃から長文を聞き取る練習を行っていく。 ・英文を聞き取る力には長けているが、トピックに関して自分の意見や考えを持つことができず、英語で表現する力も弱い。会話を通して表現したり、内容に関して主体的に考える力を養っていく。
読むこと	平均正答率が市平均よりも2.0p下回ったが、県平均よりも0.6p上回った。 ○基本的な知識や語彙力を問う問題や概要理解問題では、県の正答率を上回った。 ●会話文を読みとき選択肢を絞っていく問題では、県の正答率をわずかに下回った。	・基本的な単語の知識や概要を把握する力はあるため、今後もこれらの力を伸ばす指導を行っていく。 ・会話文において、最後まで読まず解答を先走ってしまったことによる誤答が見られた。憶測による解答をするのではなく、問題文から根拠を見つけ出しそれに基づく解答をする力を身に付けさせたい。加えて、見直しの習慣もつけさせたい。
書くこと	平均正答率が市平均よりも0.5p下回ったが、県平均よりも2.5p上回った。 ○文法知識を問う空欄補充問題では、すべての問題において県の正答率を大幅に上回った。現在時制の肯定文を書くことはできる。 ●助詞を使用する文や過去形の否定文への苦手意識が見られ、正答率も県をわずかに下回った。また、3文以上の英文を書く問題では、つながりのある文という点において正答率が県よりも大きく下がり、無回答率も47.7%にも及んだ。	・授業において、トピックについてまとまりのある文章を書く機会を増やしていく。 ・まずはトピックに関する自分の考えを構築することから始め、その考えを積極的に英語表現するよう助言していく。また、ミスを恐れず少しでも書くよう促していく。 ・あえて生徒同士で添削をする機会を与え、時制の変化や接続詞の使用方法など、文を書く時のポイントに気付く力を養っていく。